

## 新しい世界

大沼中学校 3年 池田 ゆかり

私は今回アメリカに行き、視界が一気に広がった気がします。将来の夢や可能性など、考え方が大きく変わりました。私はアメリカに行く前に友人や家族から、「言葉通じる?」「しっかり出来る?」など、心配されましたがその時は「大丈夫♪なんとかなるよ♪」と考えていました。

けれど、長い長い飛行機に乗り、いざアメリカに着いたら今まで聞いた英語とは全然違う言葉に聞こえ、不安になり少しとまどいしましたが、ホストファミリーとして経験豊かな家族に恵まれ、どうにか助かりました。

私のホストファミリーは4人家族で、犬と猫がいました。私と同年のヴァルや姉のアマンダがいて、滞在中にとっても仲良くなることができました。お父さんは歯科医で趣味は音楽、家の中には防音ルームがありドラム、ギター、マイク、コントラバス、打楽器が置いてありました。私は吹奏楽部に入っているので意気投合し、お父さんとセッションしました。ちなみにお母さんはダンスの先生と聞いていたので、私は日本からナルコを用意して、よさこいを披露しました。

コンコードカーライルハイスクール(以下 CCHS)では、日本の学校との違いを大きく感じました。中でも、始業時間は7時30分からと早く、昼休みも時間の余裕がたっぷりありました。授業は選択式で教科が多い。どの生徒も筆箱を持っていない。などでした。授業内容も沢山ありましたが、特に音楽のレベルが高かったです。内容は、ジャズ、弦楽器、吹奏楽、コーラスなどがあり、どの授業も専門の先生が指導していました。個人練習も充実していて、1人の先生が個人レッスンしてくれたりしました。CCHSの生徒はフレンドリーで、授業の合間に話しかけてくれたり楽しく話せる人ばかりでした。中には日本のアニメが好きで、気に入った本を全部持っていると話してくれる人もいました。

ホストファミリーとの一番の思い出は、ハロウィンのイベントに遊びに行ったことです。主におばけ屋敷、日本ではロボットが多いけれどアメリカは本物の方が脅かしてくるのでとても怖かったです。さらに、メイクや衣装もリアルだったのでさらに怖さ倍増でした。私は、アマンダと一緒におばけ屋敷をまわっている時にふざけて「I can't speak English!!」(私は英語を話すことができません!!)「Can you speak Japanese?」(あなたは日本語を話すことができますか?)と叫びました。すると隣にいたアマンダが爆笑しました。家に帰ってからも、アマンダはずっとその話をしていました。私もアマンダと一



緒にその時の話を楽しくしていました。

数日間は高校に行ってましたが、小学校にも行きました。小学校では、「クリス」少年と仲良くなりました。クリスは小学生とは思えないほど気さくな少年で、クラスの人気者でした。ほかにも日本から来たという「ゆうき」少年に出会い、とても仲良くなりました。そして、ゆうきのお母さんとも仲良くなり、日本とアメリカの学校の違いや、お互いの学校の良い話をしました。

その日は CCHS でホットラックパーティーがありました。ホットラックパーティーでは以前、七飯町の ALT のビンセントさんに再会し、思い出話を沢山してとても懐かしかったです。パーティーでは和太鼓クラブや吹奏楽などの発表がありました。特に、吹奏楽は約 100 名程の演奏で凄い迫力でした。パーカッションに関しては演奏中に、上手くできたらハイタッチをしたりと、楽しそうに演奏していました。

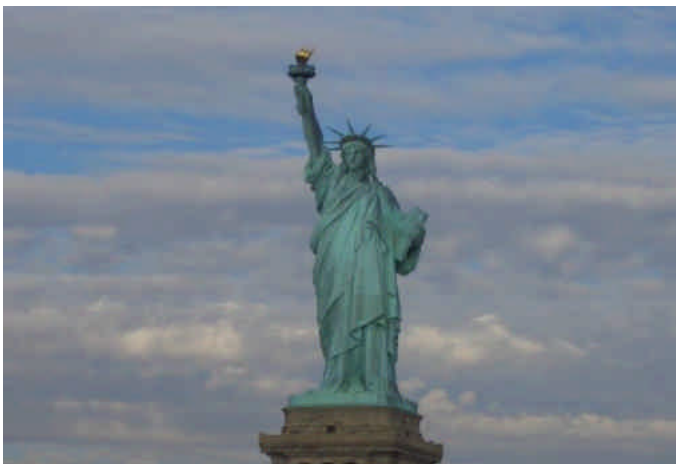


ボストンでは古いレンガの建物がいっぱいあり、歴史を肌で感じる事が出来ました。ニューヨーク (NY) では、自由の女神をみました。想像していたより小さかったのでビックリしました。

食文化に関しては全てがダイナミック！けれど、全ての人が大量に食べるわけではありませんでした。

楽しい時間はあっという間に過ぎ去り帰国の時が来ました。観光はもちろん事 全てにおいて 私はアメリカが好きになり また是非行きたいと思いました。それには英語をもっと勉強しようと思いました。

今回の海外派遣に当たりお世話になった関係者の皆さん、研修はとても良い経験になりました。ありがとうございました！！



〈おまけ〉

ボストンではほとんどの人が、レッドソックスの服を着ていたけど、ニューヨークでは着てる人が全然いなかった！

【自由の女神像】